

カラスバト生息状況確認調査結果

本調査は、平成 17 年 11 月に上関原子力発電所（1,2 号機）計画地点においてカラスバトを確認したことから、その生育環境及び生息状況を把握するため実施したものです。

調査時期：平成 17 年 12 月～平成 18 年 11 月（調査回数 8 回：延べ 37 日間）

調査場所：発電所計画地点及びその周辺（下図参照）

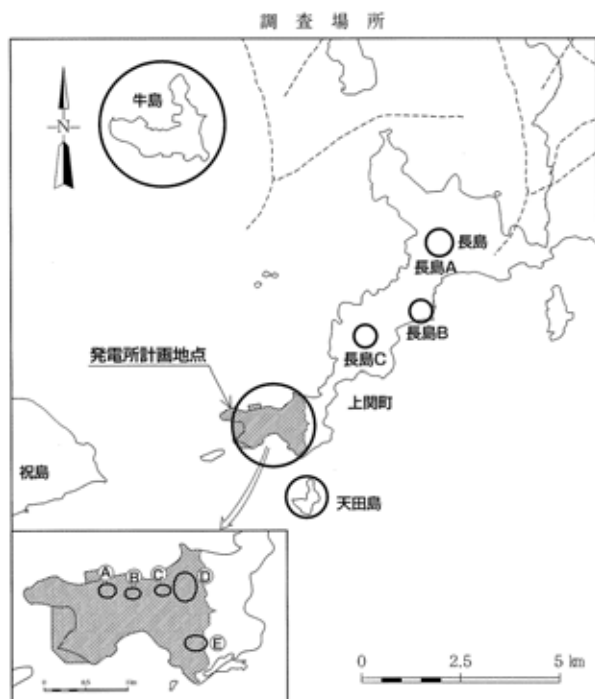
（1）発電所計画地点内

カラスバトの生息（鳴声）が確認された箇所及び予め生息可能な環境として選定した計 5 箇所

（2）計画地点の周辺

長島 3 箇所，天田島及び牛島

（牛島は、計画地点から約 7km の距離にあり、従来カラスバト生息地とされていることから対照区として繁殖環境や活動状況の情報を得るため設定）



牛島において確認したカラスバト

（注） 本調査は文化財保護法に基づく許可を受けて実施したものです。
また、調査方法等については、専門家の指導を得て行っております。

調査方法

- (1) 生息状況調査
- (2) 生息環境調査
- (3) 既存文献調査

調査結果

(1) 生息状況調査結果

発電所計画地点

平成 18 年 2 月及び 9 月の調査において、鳴き声及び飛翔を確認した。

計画地点周辺

- a . 長 島：平成 18 年 1 月の調査において、鳴き声を確認した。
- b . 天田島：調査の都度確認され、特に 12 月から 3 月において多くの飛翔や止まり及び鳴き声を確認した。
また、3 月には卵を確認し、天田島におけるカラスバトの繁殖を確認した。
- c . 牛 島：調査の都度確認され、特に 12 月から 3 月において多くの飛翔や止まり及び鳴き声を確認した。
また、1 月には巣と卵を確認し、牛島におけるカラスバトの繁殖を確認した。

(2) 生息環境調査

発電所計画地点及びその周辺の林相は常緑広葉樹林、落葉広葉樹林及びその混交林等がみられ、食餌木は主にイヌビワ、ヤブニッケイ、シロダモ、ヤマザクラであった。

(3) 既存文献調査

既存文献により山口県におけるカラスバトの分布を確認した結果、蓋井島、見島、佐合島、角島、馬島及び周南緑地において記録を確認。
また、このうち繁殖情報があるのは、蓋井島、見島、牛島であった。

まとめ（計画地点における定着の可能性）

計画地点については 2 月と 9 月に鳴き声及び飛翔を確認したのみで、繁殖の確認されている牛島、天田島に比べほとんど出現がありませんでした。また、調査期間のうち、繁殖時期における確認は、2 月調査において飛翔と鳴き声を 1 回確認したのみで、特に繁殖を示唆する行動も見られず、一時的に飛来したものと考えられ、カラスバトの繁殖を含め、計画地点内への定着はないと考えられます。